



田成 護議員

日曜・祝日も一時預かりや学童保育を

答 ニーズを把握して対応を検討する

問 幼稚園・認定子ども園の一時預かりは、日曜や祝日も預かってもらえるのか。

答 (子育て支援課長) 平日のみの事業となっており、土日、祝日のお預かりは行っていない。

問 保護者の中には、日曜祝日に仕事があり、近くに祖父母等もなく、子どもを預けられず仕事に影響がある人もいます。働き方も多様化し、いつでも預けられる環境を整えることで、子育て世代の定住化にもつながってくる。日曜祝日に保育が受けられる体制が必要ではないか。

答 (子育て支援課長) 保護者の働き方も多様化しており、これ

からの社会事情の変化を見据え、今後検討していく必要がある事業の一つとして捉えている。

問 子育て支援事業の中で、幼児期からICTに触れる環境があってもいいと思う。保育園等にタブレットを配付し、子ども達が

答 (町長) ICTに触れ、体験し、小学校へつなげていく取組を進めてはどうか。

答 (町長) 幼児教育の充実を考えると、保育園等で

幼児期の教育環境の充実を

答 幼稚園等へタブレット導入検討

タブレットを導入しなければならぬと考える。また、定住を進める上で、子育てや教育の充実が長洲町の取るべき姿だと思う。

問 小学校の学童保育では、低学年優先で4年生以上は入所できないという話を聞いたが、どうか。

答 (学校教育課長) 全学年を対象者として実施をしているが、家庭状況を審査の上、緊急性の高い低学年から入所の承認を行っている。入所できない子どもに対し、放課後子ども教室を週3回実施している。

問 共働きの家族やひとり親の家庭が増えており、日曜日や祝日も仕事をしなければならぬ保護者もいる。日曜や祝日も学童保育を開所できないか。

答 (学校教育課長) ニーズがあれば、運営費や保護者の費用負担を勘案しながら検討していく。



休日の開所を希望する

問 教育長はどのように考えるか。

答 (教育長) 少し仕事の時間を工夫してもらい、日曜など1週間に1日は、子ども達とふれあう時間をつくって頂きたいと強く思っている。そして、親子の絆を大切に、健全な子ども達の育成が図られていくといいと思う。



幼児教育へのタブレット導入を！
(イメージ)



前田美和子議員

地域のICT化をどう進めるか

答 住民に寄添い事業を展開する

問 町ではICT推進室を設置し、介護予防拠点においてもWi-Fi環境を整備したり、総合的なICT化を推進しているが、今後の取組は。

答 (町長) ブームでの健康体操や講話の配信、スマホ教室の実施、キャッシュレス化の推進等を行ってきた。今後も全

行政区でスマホ教室等デジタル技術を活用したソフト事業を展開する。

問 ICT化が進んでいる区では、げんきの館とオンラインで体操したり、複数の区と腹赤小学校で防災マ

イタイムラインを実施する等ができています。更なる推進のスケジュールはあるのか。

答 (まちづくり課長) 高齢者のデジタルに対する理解を進める必要がある。スマホ教室等の充実、職員のデジタル技術の向上を図るよう取組んでいく。

問 今後は、どのように地域にデジタル化を根づかせていくかが大きな課題であり、この取組を区は求めている。デジタル支援員を配置してはどうか。

答 (町長) 町民の皆様の利便性の向上、健康の促進、防災力の向上などICT社会で取組む必要がある。その一環として、支援員に説明員として地域を回ってもらうようなことを今後検討する。

マイタイムラインをどう普及させるのか

答 必要性は十分認識し支援していく

問 荒尾市と連携し防災士育成事業を行い、防災士の増加が図られたが今後の取組は。

答 (総務課長) これまで39名の防災士が誕生した。防災リーダーとして必要な知識、技術の熟練を目的とした研修の実施や情報提供を行い、引き続き育成事業も行っていく。

問 地区防災計画は防災活動において重要だが、どのように策定を支援しているか。

答 (総務課長) 駐在員会で説明とひな形を提供し、研修

会に職員を派遣する等している。

問 県では一人一人のタイムラインの作成を進めている。早めの避難を行うには自分の避難スイッチを明確にすることが大事である。

答 (総務課長) 必要性は十分認識している。自助の大切さの周知を行い、区や組織に対して作成の支援を行っていく。



オンラインで小学校と区の防災訓練



自分がいつ、どこに避難するかを考えよう



林 敏哉議員

コロナ禍での健診率UPとPCR検査の充実を

答 周知・啓発を行い、検査は国等の動向を見る

問 令和2年度、国保の特定健診受診率が減少傾向にあるが、この原因は。

答 (町長) 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、6月の集団健診を中止した影響が大きい。

問 健診委託事業者との交渉で年回数や日数の拡大、近隣医療機関からの出張健診等、受診率アップの為に対策が必要では。

答 (福祉保健介護課長) まずは住民に対し健診受診の必要性についてしっかりと説明し取組んでいきたい。

問 第6波に備える上でも、不特定多数、無症状者に対して無料のPCR検査を求める。

答 (町長) 都道府県において、新型インフルエンザ特別措置法に基づき、感染に不安を感じる無症状者に検査を受けることを要請した場合でも、無料にするところが検討されている。

問 無症状者が感染源となり、感染拡大を引き起こしている。いくつかの自治体では独自で無料のPCR検査を行っているが検討

答 (福祉保健介護課長) できないか。県に情報の確認をしながら、今後の国の状況等を見ながら検討する。

問 豪雨時に支障がないよう対応する

問 豪雨時、堆積土砂が水路より新川漁港に大量に流出するが、直近の調査はいつ行われ、その結果はどうだったのか。

答 (建設課長) 直近では9月に調査をした。堆積土砂は確認したが、水路の通水の妨げになる量ではない。

問 水路樋門から新川漁港への埋設水路

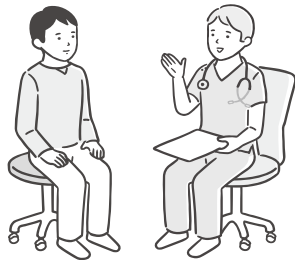
答 (町長) 埋設水路の石垣は目地をコンクリートで

補強し、海水の逆流はフラップゲートで対応し補修を行っており、損傷はないが、現地の経過観察を継続していく。

上沖洲整理川(水路)に堆積した土砂の浚渫(しゅんせつ)を求める



上沖洲整理川(水路)に堆積した土砂の浚渫(しゅんせつ)を求める



問 豪雨時、堆積土砂が水路より新川漁港に大量に流出するが、直近の調査はいつ行われ、その結果はどうだったのか。

答 (建設課長) 直近では9月に調査をした。堆積土砂は確認したが、水路の通水の妨げになる量ではない。

問 水路樋門から新川漁港への埋設水路

答 (町長) 埋設水路の石垣は目地をコンクリートで

補強し、海水の逆流はフラップゲートで対応し補修を行っており、損傷はないが、現地の経過観察を継続していく。



福田史治議員

駅北側道路は通行量が多い、拡幅を！

答 警察と協議して検討していく

問 町道長洲港・停車場線の駅北側から

主要道路と認識しているが、幅員が狭く、雨の日の通勤・通学の時間帯に通行量が非常に多く、いつ事故が起きてもおかしくない。早

答 急に拡幅できないか。

(町長)

建浜区内の未改良区間の幅員が狭いことは認識しているが財政状況もあり、まずは、交通量の多い通学路の土井辻線の交差点改良を優先して行いたい。

問 第6次総合振興計画では予定されていないが、計画はいつ頃になるか。

(建設課長)

用地等の問題や財政面など不確定要素があるので、時期は未定である。

ALTとタブレット導入の成果は

ALTとタブレット

幼児小中で連携し一貫した英語教育を実践中

問 英語力の向上について、GIGAスクール構想で配布したタブレットもあわせて活用することが有効だと思うが、具体的な成果は。

答 英語力の向上について、書く力が必要。今後は、幼児・小中学校の一貫した教育を充実させ、コミュニケーション能力を主に学力の向上に取組みたい。更にタブレットを有効活用して学習内容の構築を図っていきたい。

(教育長)

ALTとタブレット導入により、英語に対する興味や関心も高くなり、意欲的な態度が身に付きつつある。しかし、令和3年度学力調査によると学年が上がるにつれ興味や関心が低くなり、学力は低下している。聞く、話す力だけでなく、読

問 英検で受験時に補助をしているというが、取得率は。

(学校教育課長)

60%～75%程度。年々合格者は増加傾向で、これまで約百名が受験している。新しく就任したALTは、どのような授業を行っているか。

答 (学校教育課長)

小・中学校にそれぞれ配置し、チームティーチングとして専科の教員・学年担任と授業を実施している。ネイティブな発音を復習し、正しい発音を身に付ける取組を重視している。



危険な狭あい道路を見逃すな

問 しかし、この区間は特に危険だと思っているが、どのように認識しているか。

(建設課長)

車道部分が4m未満と狭く、通勤・通学の時間帯は危険であると認識している。

警察とも協議を行って、歩行者の安全確保のため区画線等での車の誘導等ができないか検討していく。

答 (建設課長)

ALTとタブレット導入により、英語に対する興味や関心も高くなり、意欲的な態度が身に付きつつある。しかし、令和3年度学力調査によると学年が上がるにつれ興味や関心が低くなり、学力は低下している。聞く、話す力だけでなく、読



ALTとたくさん話そう！



少子高齢化・人口減少が進む長洲町



竹本信次議員

町の人口減少に歯止めを

答 子育て・教育等を充実する

問 人口減少対策として、企業誘致や定住化・子育て支援に向け新しく「レインボーみやの」を整備する等、各分野で様々な取組を展開してきたが、人口減少に歯止めをかけることは出来なかったのか。

答 (町長) 空き家対策、新しい家の建設だけでは、定住が進まなかった。教育や子育てを充実しながら、総合的に人口を維持していく。二〇三〇年度には想定人口が1万4千人を割込み、人口減

少は避けられない状況である。子どもの出生数は10年間120人から130人で推移していたが、令和元年度93人、令和2年度100人と減少している。町長は、これから人口減で起こる危機をどう考

答 (町長) 人口減少の危機は私も当然考えている。生産年齢人口(15歳以上64歳未満)が少なくなるほど企業も非常に苦勞する。そういう中、どのような形で経済活動を維持していくかが町の課題である。

行政手続きオンライン化の推進を

答 デジタル化施策を展開したい

問 DXとは、行政サービスのオンライン化によって、手続きなどのためにわざわざ時間を割いて来なくても済む町役場を目指すものである。国が進める長洲町DX推進5か年計画に向けて、どう取組んでいるか。

答 (町長) 国の令和3年度補正予算にデジタルに係る予算が計上されている。ICT推進計画を策定し、国の計画や施策等を念頭に置きながら、町に必要なデジタル化に係る施策をさらに展開していきたい。

問 これからは、無駄なハンコをなくするなど、業務プロセスを見直すことで業務の無駄を削減し、本町の持続可能な財政運営の確立と町民サービスの充実という視点に立ち、DX推進による町行政経営改革の取組が必要ではないか。

答 (町長) 今後もデジタル化は急速に進んでいくと考えている。行政経営を進めていくうえで、ICTの活用は効果的、効率的であり、行政分野のみならず様々な分野において、デジタル化を積極的に推進していきたい。



無駄をなくして働きやすい! 便利で住みやすい!
DX (デジタル・トランスフォーメーション) の推進



福本みや子議員

脱炭素社会への方向性と取組は

答 来年度に推進部署を設置する

問 地球上で気候変動が頻繁に起こり、気象災害が深刻化している。地方自治体も地球温暖化対策を策定する義務が課された。第6次総合振興計画にある安全・安心な環境にやさしいまちづくりを

どのようにすすめているのか。

答 (町長) 安全・安心で自然豊かな住みよいまちを基本目標に位置づけ脱炭素社会を目指す。プラスチックゴミの対応策を有明広域行政事務

組合で協議している。2024年の目標実現に向けて具体的な取組の内容は。

答 (住民環境課長) 地球温暖化防止対策実行計画を策定している。公共施設のCO₂削減として、照明器具のLED化、役場庁舎の空調設備改修を予定、公用車のエコカー導入等、主に取組んだ。具体的には公用車のガソリンのCO₂排出量は平成26年度からすると約18%の減少になった。

問 本町の産業構造、人口構成、自然環境等を想定して、今後の具体的な方向性に向けて考えや方針は。

答 (住民環境課長) 自然環境保全に向

けた継続的な取組を行うことが必要である。第6次総合振興計画の中で中高生へ魅力ある町について実施したアンケートでは、自然が多く、緑あふれる町、海がきれいな町等の意見があった。その声を反映させ、すすめていきたい。

問 学校給食で牛乳にプラスチック製ストローを使用しているが、ゴミ削減にむけて、新給食センターではどう取組むのか。

答 (住民環境課長) プラスチックゴミ問題は脱炭素のため早急に取組む課題である。学校現場と課題や方策を明らかにし、共有し環境教育に段階的に取組んでいきたい。

問 4月から使い捨てプラスチック製品削減を目指す法律が施行される。官民一体となり知恵を出して早急に取組まねばならない。SDGsの社会実現と安全・安心な未来を子ども達に手渡すため、脱炭素社会に向けて、宣言や担当部署の設置を提言したい。

答 (町長) この問題に対応するには大変な作業が想定される。まず来年度に脱炭素社会推進づくりに関する部署を設置し、この問題に取組んでいきたい。



地球は病んでいる！



この海を未来の子どもたちへ



町の歴史と町民の財産！



磯野 博議員

公文書の電子媒体での保管の考えは

答 国や他自治体を見ながら検討していきたい

問 町文書規程において文書の取扱いが定められている。保存期間が最も長い30年とある、永年保管と永久保管のものは何が該当するのか。

答 (町長) 文書規程に取扱いの必要な事項を定めており、それぞれの保存期間満了時に廃棄または保存の延長を行うか判断している。

問 永久保管はないのか。

答 (総務課長) 永年、永久保管は同じ意味の言葉で使用している。保存の区分で一番長いもので30年となっている。その保管期間の延長が積み重なり、永年的に保管している状況が生じている。

問 古いもので、いつからのものがあるか。

答 (町長) 財産に関するものは合併以前の長洲町及び腹栄村から引継いだ文書もあり、町の基本事項に関するもの、行政事務の重要施策に関するもの、工事関係の書類は合併以降のものが多くある。

問 本町の指定文化財の書類等で古庄文書と関文書があるが、これらの保管状況は。

答 (生涯学習課長) それらは指定文化財として保存している。

問 公文書の一般公開はできるのか。

答 (町長) 町掲示板や広報紙、ホームページ等で公表されたものや、町の事務事業の遂行上必要なものを除き、町の情報公開条例に基づき対応している。

問 電子媒体での保管の考えは。

答 (町長) 現在、町の公文書は紙媒体が大半を占めており、その管理は職員の手作業によって行



職務を遂行した職員の誇り
(永年保管30年)

われている。そのため作業負担が発生し、文書の管理や検索等に時間を費やしている。公文書の作成、保存を一貫して電子媒体で保管することは、管理の効率化が期待できること

から、本町においてもデジタル化の推進の取組を進めていかなければならない。今後、国や他自治体の状況を見ながら検討していきたい。



浦邊朝章議員

長洲港周辺整備は

答 整備基本計画を策定、整備を進めたい

問 ①商工会館跡地及び長洲港周辺整備について。②みなと憩い広場は荒尾干潟と金魚と鯉の郷広場を結ぶルート上にあり、遊歩道の整備も必要である。長洲港は交通の

要。それぞれの連携をどう図るか。

答 (町長)
①商工会館解体後の跡地を含めて海の玄関口にふさわしい整備が必要。港湾及び道路管理者の県や有明フェ

リー等と協議し、基本計画を策定、整備を進めたい。②荒尾市等と連携し、荒尾長洲地域資源活用推進協議会を設置して荒尾干潟水鳥・湿地センターと金魚と鯉の郷広場を結ぶウォーキングルートやサイクリングルートを整備した。また、有明海のフォトコンテストを実施する等、活性化を図っている。

問 ウォーキングルート等の状況は。

答 (まちづくり課長)
荒尾干潟水鳥・湿地センターと金魚と鯉の郷広場を結ぶ約6キロを設定した。水飲場を整備し、案内看板を設置している。

問 フェリーターミナルも含め車や人の

流れを図るべきだ。また、連絡道路として近隣市町村やJRとの接続も考慮していくべきでは。

答 (まちづくり課長)
いろんな角度からの検討が必要。今後、協議を進めていきたい。連絡道路として

都市公園等の管理は

答 地元行政区へ委託等している

問 金魚と鯉の郷広場を含む公園等において①ペット連れの規制は。②不審者対策は。③公園の管理運営を外部に委託する考えはあるか。

答 (町長)
①都市公園では公園管理規則等で定め、ペット連れを禁止している。金魚と鯉の郷広場は多数の利用者があるため事故防止や衛生面から、公園内にペッ

問 道路沿いの樹木が生い茂り、道路から公園内が死角になっている。

答 (建設課長)
公園内が見通せるよう今後の整備で対応していきたい。



道路沿いの樹木は公園の死角



期待が持たれる長洲港周辺整備

は、有明海沿岸道路が長洲港まで都市計画道路として決定した。



港内のヘドロ浚渫を

問 新川漁港内にヘドロが堆積する現状は直ちに浚渫すべきだ。新型コロナウイルス感染症対策上好ましい状態とは言えない。第6波が懸念される今日、苦い経験を持つ当町としては、二度と感染再拡大は絶対あって

答 玉名市に要望する

ヘドロ浚渫も

はならない。

答 (町長)

港内に堆積したヘドロの浚渫についても玉名市に対して要望する。

問 ヘドロ堆積の原状回復の早期実施を町長に期待する。



(google map)

新しい漁港の考え方を

問 他市町の者が利用する漁港が、当町行政区内に存在することは合理的でない。長洲住民が利用できる港に使用目的を変更すべきではないか。

答 (町長)

漁港漁場整備法に基づき、玉名市と長洲町にわたる漁港として県が指定し、玉名市が

管理している漁港だ。ご提案のような漁港の利用について、玉名市に条例改正や協議の場の設置を要望している。

問 この新川漁港は、文久2年に石積により堤防岸壁を築き、慶応元年防波堤を築堤し漁港とされている。昭和5年にこの防波堤

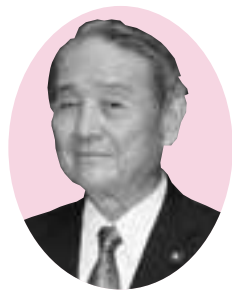
をコンクリート工法により改築し、昭和38年海岸保全事業により、上沖洲地先の堤防新築、物揚場、水門を改築し、昭和43年3月まで大部分が完成と記されている。長洲の住民が文久2年から新川漁

港に力を注いできたが、腹赤漁協解散により町長答弁の状態になり、長洲住民として長洲の領土を他市町から占有された気がする。昭和62年議会議事録には、当時、長洲港改修中で長洲の漁船が新川

漁港に台風避難を断られたと悲痛な記録が残されている。新たな漁港、あるいは、レジャー港など定住構想を考えるとどうか。

答 (町長)

新川漁港の歴史など、るる申された。今後、新川漁港のあり方について、ご意見を含めて協議する。



濱崎 久議員

漁港（新川漁港）の町民利用を優先に

条例改正や協議できる場の設置を要望する